

# PLASTIC RECYCLE

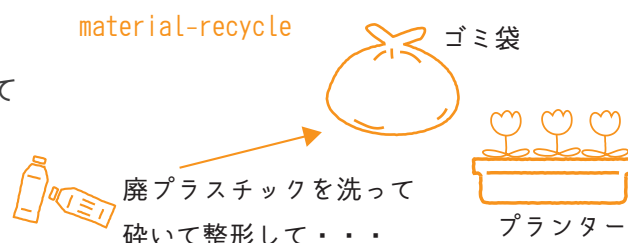
3つのRをご存じですか？

中古としてや、使い方をアレンジして再び使うリユース (Reuse)。そもそもの量を減らすリデュース (Reduce)。原材料として使うリサイクル (Recycle)。

ここではリサイクルのお話です。

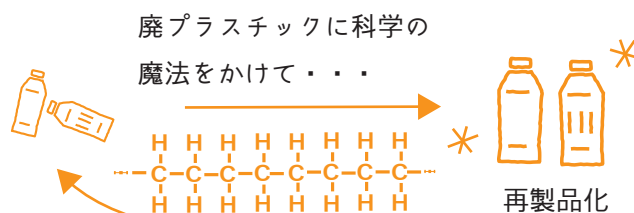
## マテリアルリサイクル

廃プラスチックを砕く、熱を加えるなどで形を変えて別の製品の材料として使います。



## ケミカルリサイクル

廃プラスチックを科学的に分解して原料に戻してもう一度製品を作り直します。



理論的には何度も繰り返して使える。  
これぞリサイクル! chemical-recycle

## サーマルリサイクル

廃プラスチックを燃やして熱エネルギーとして使う。ケミカルリサイクルのように「繰り返し」という点からリサイクルと扱うかどうかは意見が分かれるところ。



燃やして得た熱を発電に使ったり温浴施設に使ったりしています。



thermal-recycle

プラスチックリサイクルの方法は大きく3つ

プラスチックは本来くり返しリサイクルが出来る優れたもの。ところがそこには異物が混ざらないのが条件。つまり汚れていなくて、同じ種類のプラスチックだけで集まっているのが大前提。プラスチックは分別してこそ、有効活用できる素材なんです。

ところがその分別はとても大変。ということで国内のプラスチックリサイクルは半分以上がサーマルリサイクルとして焼却されているのが現状です。

海外ではリサイクル率を高めるために、ペットボトル飲料の販売時に補償金を設けておいて、空のペットボトルを持っていくと保証金が返金されるという制度もあります。

資源を無駄にせず使うための取り組みや工夫は、今後ますます大切になります。



Keep the Ocean Clean!

